

**2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 フランス語圏文化学科 4年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留 学 先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 パリ第7大学 Lettres et Sciences Humaines, Lettres Arts et Cinéma
原則 公開	留 学 期 間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年9月1日～2018年4月30日 出国日 2018年5月1日 最終帰国日 2018年5月2日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は語学力の向上に最も力を入れるべきだと強く考えていました。もちろんそれは間違っていないと帰国後も思いますが、それと並行して慣れない環境や異文化の中でいかに主体的に行動することが大切だったかということを経験後改めて実感しました。具体的に言うと、授業を通して知らない単語を覚え、リスニング力などを高めることに集中することももちろんやるべきですが、そのためにも失敗を恐れずに授業内で積極的に発言することや、周りの学生と進んでコミュニケーションを図ろうと努力することを意識的にやるべきだと思いました。私はそのことに気が付いたのが留学して半年過ぎたくらいからだったため、留学当初からできていればより有意義な日々になっただろうと今は感じています。これによって、語学力だけでなく、自身の精神面も鍛えられるのではないかと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

留学生生活を全て終えて気づいたことは、「自分は何のために留学するのか」ということをかなり明確にかつ具体的に考えておく必要があると思います。さらに言えば、「留学前と帰国後で自分はどのように変化したいのか」ということをまずは決め、そのためにはどのように日々の生活を過ごし、何をすべきかをきちんとリストアップするとより良いのではないかと思います。そう考える理由としては、約10か月もの留学生活の中では落ち込むことや自分の思うようにいかないことが必ずあります。沈んだ気持ちの時にこそ自分自身を奮い立たせることができるかは留学の目的や目標が明確であればあるほど、より良い方向へと自分をコントロールすることが出来るのではないかと考えるからです。また、私は帰国後すぐに就職活動を始めましたが、その際にも留学という経験を少しでもアピールすることを意識しました。

留学によってどのように自分が成長したかということやその成長までの過程をきちんと伝えるためには、留学前に目的や目標をきちんと考えることは効果的だと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学生向けのフランス語の授業は同じレベルでも曜日や先生によって授業内容が異なるようです。どうしても内容が難しい場合や先生と合わない場合は、先生に言えばクラスを変えることができます。私は特に変えませんでした。クラスを変更している日本人の学生はいました。留学生向けの授業で私が一番勉強になったことは、プレゼンテーションをしたことです。フランス語でパワーポイントを作成することや発表する時の原稿を考えることはとても大変でしたが、発表がうまくいったときの達成感はとても大きなものでした。プレゼンテーションをする中で最も大変だったことは、原稿を見ずにスムーズに内容を話し、伝えることです。日本語では内容さえ理解していれば簡単にできることですが、フランス語では私はスムーズに表現できなかつたため、まずは発表時の原稿を暗記しました。そして、丸暗記した感じが出すぎないように繰り返し練習しました。日本では中々できる経験ではないと思うため、とても良い経験になりました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

学習院大学のように一つの敷地内に教室の建物があるタイプの大学ではなく、いくつかの大学の建物が近い距離で点々とあるタイプです。授業によって建物が違うため、注意が必要だと思いました。学食もあります。日替わりのかかなりボリュームミーな定食が3€程度で食べられることは出来るだけ食費を節約したい私にとってはありがたいと感じました。逆に校舎に関して驚いたことは、男女共同のお手洗いがあるということです。お手洗いを済ませて出てきたら、隣の個室から男性が出てくることは多々ありました。全てのお手洗いが男女共同という訳ではないので安心してほしいです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

9月にパソコンでレベル分けのテストがあります。自分のレベルが分かり次第、パソコンで受講できるクラスの登録もできるようになります。文法、ライティング、オーラルの3つのクラス、レベルによっては文化等を学ぶ授業もあり、前期と後期で最高2つずつ履修することができます。

また、私は9月の第1週に約1週間 SILC という留学生向けの短期講座に参加しました。この講座の良いところは、座学だけでなくクラスで美術館へ行く日やセーヌ川のクルージングなど授業の一環で観光ができるため、初めてパリに行く人や早くから友達を作りたい人にはおすすめです。参加は義務ではありません。値段は250€でした。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

大学に国際センターがあり、アジア圏からの留学生をサポートしてくれる人がいます。何か困ったことがあれば、相談できます。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学の周辺は人通りも多く、そばには大通りもあるので比較的安全だと思います。ですが、大学から歩いて10分程離れると少し治安が悪いと聞きました。その周辺に学生寮もあるため、夜間に歩くときは細心の注意を払った方が良いと思います。また、どこを歩く時もスリには注意して、チャックを開けたまま鞆を持つことや、コートのポケットなどに携帯電話を入れることなどは避け、常に注意しておくことが大切だと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Esthétique1 (4)	
Image1 Introduction aux fondamentaux (4)	
Grammaire du français (3)	
Atelier Orale (3)	
Histoire de l'art (4)	
Littérature, arts et sciences humaines (3)	
Grammaire du français (3)	
Atelier Écrit (3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮/アパート/ホームステイ/その他 (民間女子学生寮)

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 615€、(日本円) 約 8万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) /自炊/その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩/自転車/バス/地下鉄/その他 ()、計 60分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私は大学の寮に入ることができなかつたため、最初の1カ月はアパートを紹介してもらい、10月から運よく学生寮に入ることができました。アパートは設備も全て整っているため、大変快適でした。しかし、周りに学生が住んでいる訳ではないため、アパートに帰ると一人きりになり、多くの学生とコミュニケーションをはかることはできませんでした。反対に、学生寮はキッチンやシャワーなど全てが共同なため、最初は不便さを感じましたが、同じ階の学生と頻繁に会えるため、大学以外の友達を作れたことはとても良かったです。また、私が住んでいた5区はとても立地が良く、大学にも比較的近く、どこへ行くにも便利な場所でした。私にとって大きな問題となったことは、大学の寮よりアパートも民間の学生寮も、家賃がとても高いことです。家賃補助もあまり出ないため、要注意です。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0€ 、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

~~飛行機~~/船舶/その他 ()、往復(日本円) 約 14万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 700€ 、(日本円) 約 10万 円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

~~インターナショナルキャッシュカード~~/~~クレジットカード~~/国際ブランドプリペイドカード
現金/その他 ()

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

フランスはカード社会のため、ほぼどこでもカードが使えます。クレジットカードなど最低1枚は持っていた方が良いと思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

生活費：10万円

書籍代：5万円

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

(2) 保険料

16万円

(3) 加入した保険の種類、内容

フランス留学専用保険 長期留学プラン717

(4) 感想、良かった点・悪かった点

アンスティチュ・フランセと提携している保険のため、フランスの事情に精通した担当の方が万が一の時には日本語でサポートしてくださるといふ点にとても安心感を抱きました。

6. 荷物について

行きは大きめのスーツケースを2つで冬前までに必要な衣類やその他の生活用品を持っていきました。シャルルドゴール空港からアパートまで、パリ第7大学の日本語学科の学生が荷物を運びました。帰りは4月頃に着なくなった冬服などのかさばるものを日本にフランスの郵便局から郵送しました。私は2回に分けました。

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

圧縮袋(多め)、インスタントのお味噌汁、スリッパ、エコバック

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

日本で使っていたフランス語の文法の教科書類

(4) 持って行けば良かったと思う物

海外対応の電源プラグ(多め)

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

毎日1つか2つ授業がありました。授業後は図書館で宿題や復習をやっていました。時々、カフェで友達と時間を過ごすこともありました。毎日大体18時くらいに大学の近くのスーパーで買い物をしてから帰っていました。帰宅後はキッチンで友達と会話をしながら自炊をし、寮生活を楽しみました。

(2) 週末

友達と出かけることが多かったと思います。生活に慣れてきてからは時々、一人でデパートに買い物に行くこともありました。また、1週間分の洗濯をし、日本にいる両親や友達とスカイプで連絡をとり、近況を報告することもありました。

8. 後輩へのアドバイス等

旅行や短期の留学では味わうことのできない楽しさや大変さをじっくり体感することができるのではないかと思います。様々な人と出会い、色々なことを経験し、その中で多くのことを感じ、必要なことは大いに吸収し、後悔のないよう楽しんでください！また、私はこの留学を通して多くの人に支えられて自分がこうして留学生活を送れていることを心から感じました。出会う人全てに感謝する気持ちで日々過ごせるとさらに素敵な留学生活になると思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。